

議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会 (H18年度第3回)	主催者 電気学会
日時	平成18年12月12日(火)	場所 SRL 東雲(東京)
出席者	田中(ISTEC)、石渡(東芝)、飯田(日立)、樽谷(SRL)	

【議事】

- (1) 前回の議事録の確認
- (2) EINA マガジン掲載
 - ・ 本委員会から記事を投稿
- (3) 研究会の報告
 - ・ 11/28～11/29に横浜国大にて金属・セラミックス&マグネティックスの合同で「ナノ磁性材料、磁気応用一般、ナノスケール超電導体」の研究会を開催した。40名ほどの参加で、そのうち懇親会には30名ほど参加。
 - ・ 12/5に東京ガスにて「先進燃料電池用電極材料」の研究会を開催した。19名の参加で、そのうち8名が見学会に参加。
- (4) 同決算報告案の審議
 - ・ 収入は研究会資料販売で13,900円(売上金、及び研究会資料-残り11冊は電気学会に届け済み)、支出は交通費(5,320円)、資料買上げ(講演者へ謹呈で1,600円)となった。今回の費用は研究会等活動費(10,000円-210円 9,790円)より支出する。
- (5) 上部委員会報告(11/1)
 - ・ 共通A部門誌の発行は1回/年
 - ・ 長期ビジョンを作成中
 - ・ フォーラム開催を審議中(A部門の活性化や報告書の販売促進を目的に)
 - ・ 中期ビジョンを見直し中
- (6) H19年度の分掌案
 - 1) 委員長、上部委員会4回/年: 田中
 - 2) 編集委員会6回/年: 田中、飯田、アソシエイトエディター: 飯田
 - 3) 研究会/見学会の企画運営: 一瀬、三村
 - 4) 全国大会・A部門大会の企画: 石渡
 - 5) 本委員会のHPメンテ: 樽谷、三村
 - 6) 本委員会の運営議事: 三村
 - 7) 調査専門委員会-1(既存): 熊倉、フォーラム推進委員: 熊倉
 - 8) 調査専門委員会-2(新規): 石渡

熊倉氏の超電導関連の調査専門委員会は 9 月で終了すのため、後継の超電導関係の調査専門委員会、その他を立ち上げを検討する。候補案件は

超電導デバイス（吉川、樽谷）

超電導の材料調査（三村）

熱電変換素子（石渡）

SOFC 関連（未定）

とし、次回の 3 月に提案し、5 月の設立趣意書の作成を目指す。

(7) 編集委員会報告と英語論文号の審議

電気学会 A 部門誌を強化していくために、エディター制を導入し、電子査読システムに移行する。本委員会もアソシエイトエディター等で支援していく。また燃料電池関係で英語論文特集号を企画提案した。

(8) 長期ビジョンマップ報告

電気学会にて長期ビジョンのロードマップを作成中。本委員会も超電導関連のビジョン案を検討。

(9) 中期ビジョン見直し

H17 年 5 月に電気学会に提出した当委員会の中期ビジョンの見直しを検討中。見直し案のポイントは

1) 国家戦略の研究開発目標に整合

2) 2020 年を想定した技術領域

3) 2020 年を目指した金属・セラミックスのキーワード

金属は、超電導、太陽光発電、水素吸蔵合金、PEFC 白金電極、熱電変換素子。セラミックスは、化合物半導体、酸化物超電導体、太陽光発電、SOFC 用固体酸化物、熱電変換素子、酸化物触媒、レーザーソース、ガスセンサー。

4) 具体的な活動への反映（マイルストーンを設定）

(10) フォーラム開催と推進委員の審議

A 部門にてフォーラム開催を検討中。実施細則案も示された。本委員会としては 9 月に終了する超電導関連の調査専門委員会(熊倉)にてフォーラム開催の検討を行う。

(11) 平成 19 年度の活動計画の審議

・ 本委員会は 4 回/年（6 月、9 月、12 月、3 月）を予定。

・ 研究会は熱電変換素子関連での開催(10 月開催、6 月広告)を検討する(石渡)。

(12) HP のメンテナンス進捗

研究会の終了内容を追加更新する。また英文の追加も検討する。

(13) その他

次回は 3 月を予定

以上